

所属	農学生命科学部	氏名	石塚 哉史・高梨子 文恵 ・成田 拓未
課題名	アジアにおける青森県産りんご・りんご加工品のブランド展開の現状と課題に関する実証的研究ー中国・台湾・ベトナムの事例を中心にー		

1. 概要

本研究の目的は、青森県産りんご・りんご加工品の輸出マーケティング戦略の現段階と課題を解明するために、アジア諸国を対象に新規販路開拓並びに（既存の）販路確保に係る現状分析を行うことにおかれています。具体的には、輸出相手国・地域の現地市場において青森県産りんごのブランドマーケティングが実践できているのか、否かをブランド・プレミアム、ブランド・サプライ、ブランドコミュニケーションというポイントに焦点をあてて検討します。それに加えて、りんご輸出が産地に与えるバリューチェーン（価値連鎖）の実態についても生果とりんご加工品（とりわけ、りんご果汁）双方で初歩的な分析を行う予定です。

なお、輸出相手国・地域の対象は、最大輸出相手国・地域である台湾、今後の需要拡大が期待されるベトナムおよび中国（香港も含む）の3カ国・地域です。主要な分析は、国内外の生産・流通・消費の各主体において実施したフィールドワーク（ヒアリング調査、アンケート調査）の結果に基づいて前述の目的に沿って導き出します。

2018年度に実施した概要は下記の通りです。①ベトナムホーチミン市において青森県産りんごのカット加工を行っている SATRA（ホーチミン市公社）、今後りんごの輸入を検討している Binh Dien 卸売市場および小売企業2社（A社（現地資本）およびB社（タイ資本））に対してベトナムのりんご市場に関するヒアリング調査を実施した（高梨子）。

②青森県農林水産部りんご果樹課および観光国際戦略局国際経済課で青森県産りんごの輸出の現状と課題に関するヒアリング調査を実施した（石塚）。

③輸出向けりんご及びりんごジュースの出荷を実施している生産農家（岩淵農園、青森県平川市）を対象に輸出実態のヒアリングを実施し、農家によるりんご輸出の現状と課題について検討した（成田）。④青森県産りんごの有力な輸出市場である台湾において流通・小売実態についてヒアリングを実施した（石塚・成田）。⑤タイ・バンコク市における小売店において青森県産りんごの販売状況を調査した（高梨子）。⑥青森県農村工業農業協同組合連合会においてりんごジュース輸出の現状と課題並びに今後の展望についてヒアリング調査を実施した（石塚・成田）

本研究は、戦略Iの取り組み内容の（6）で示されている「海外市場動向を踏まえた地域産業の活性化への提言」の①輸出産業の実態調査と産業振興策への提言および②ブランド化による市場開拓に該当するプロジェクトと想定して実施。現在取り組んでいる分析が順調に推進していけば、りんごに代表される地域農業のマーケティングを検討する上で販路確保、新規需要創出に関連する有益な資料の蓄積につながる事が予測される。

（1）台北市におけるりんご販売状況



日本（青森県）産りんご販売状況（119台湾元/箱）



韓国産りんご販売状況（49台湾元/箱）

2. 画像の説明

（1）台北市におけるりんご販売状況